



04 有限会社ジェイ・クラフトマン

令和3年10月認定



所在
埼玉県八潮市鶴ヶ巻1490-5 藤波ビル1階

主な業務内容
袋物製造 (ハンドバッグ、かばん等)

従業員
1人

設立年月
1994年7月

地震リスク 震度6弱

水害リスク 洪水(綾瀬川・中川水系)、最大浸水深: 0.5~3.0m未満

概要 御社の概要を教えてください。

当社は、長年におよび皮革製品を主にしたあらゆる素材を使用して袋物などの縫製を行い、近年は製造拠点を国内に移して技術者の育成を始め、産業技術の継承に尽力してまいりました。

また、**地域経済の発展の為に異業種とのコラボ製品の交流、開発、販売も積極的に行い**、2020年、2021年においては、近隣の染色業とのコラボ製品にて八潮市ブランドに認定され、地域の産業の一翼を担っています。

きっかけ 事業継続力強化計画を策定したきっかけを教えてください。

当社の立地上、**大雨等による水災の危険性、及び感染症拡大に対する従業員・家族への安全対策の必要性**を痛感しているなか、八潮市商工会より事業継続力強化計画の紹介を受け、BCPアドバイザーの策定支援もあつたことを知り、策定に取り組みました。

苦労 計画策定で苦労した事と、その解決策を教えてください。

自然災害の被害想定については検討しにくい内容ではありませんでしたが、人員体制・施設設備・資金・情報に分けて想定することにより、具体的な被害内容及びその対策が整理しやすくなり、**特にその予防策に注力して策定を進めていきました。**

社内外の変化 事業継続力強化計画を策定したことで、社内外で変化したことを教えてください。

災害時に製造が停止・遅延した場合の対策として、組立工程の分散化、外注化の併用策を考慮して、その**マニュアル化を進めています。**

更に、消耗品の備蓄、資材・材料の確保を仕入先とも連動しながら進めてきています。また、**有事の場合の連絡先・連絡内容も整理して**、お取引先・お客様への影響を軽減できるよう体制整備も進んできています。

進捗 策定した事業継続力強化計画の進捗を教えてください。

策定した事業継続力強化計画より、製造過程における関連企業との連携の必要性を強く感じ、**連携事業継続力強化計画も策定**しました。【異業種コラボ集団】として地域産業や需要業界に支障をきたさないように協業しながら活動しています。

防災用品の整備、**水災対策として土嚢購入**・建物補修等も進めてきています。防災対策商品としての商品企画も進み、八潮市のふるさと納税返礼品への商品企画依頼も受けています。

感想 事業継続力強化計画を策定した感想を教えてください。

様々な観点より被害想定を考えることにより、対策のポイントも少なからず見えてきて、これまでの対策に過不足していた部分も明らかになり、平時の業務改善にも繋がり、徐々に**意識改善が進ん**で来ていると思います。

昨今の国内の噴火や地震等の発生により、連携メンバーの危機感も増し、計画策定の効果も感じています。

感想 計画の策定を他の事業所にも勧めるとしたら

計画策定の経緯の中で、なかなか**個社のみでは克服出来ない部分**も見えてきて、社内外に於ける連携対策の必要性を感じました。まずは自社の事業継続力強化計画に取り組み、現状の危機管理の進捗状況を把握してみることをお勧めします。

特に、**南海トラフ、感染症急拡大等の危険性**も唱えられている中、いち早く計画策定に取り組み予防策を講じることをお勧めします。

感想 紹介者からの一言(八潮市商工会)

当企業は、バッグやかばんなどの多様なニーズに対し、OEMから自社ブランド、そしてオーダーメイドなど一点ものまで、きめ細やかな対応をしています。

メイドインジャパンにこだわり、社長は八潮市の優良技能者にも選ばれています。以前から事業継続力強化計画策定の必要性を感じていながらも、**具体的にどのよう**に計画を立てればいいのか、模索していたところに埼玉県産業振興公社の策定支援を聞き、タイミングよく策定することができて良かったと思います。